



平成29年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月 9 日  
東

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所  
 コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 シニアマネージャー (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5793-5500  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成28年 2 月 1 日～平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年 1 月期第 3 四半期	5,993	△1.4	83	△47.6	2	△98.1	△87	—
28年 1 月期第 3 四半期	6,075	6.0	158	△71.8	153	△72.9	68	△76.8

(注) 包括利益 29年 1 月期第 3 四半期 △27百万円( —%) 28年 1 月期第 3 四半期 81百万円(△73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年 1 月期第 3 四半期	△12.40	—
28年 1 月期第 3 四半期	9.90	9.81

(注)平成29年 1 月期第 3 四半期の潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年 1 月期第 3 四半期	4,411	1,749	39.6
28年 1 月期	4,057	1,777	43.7

(参考) 自己資本 29年 1 月期第 3 四半期 1,747百万円 28年 1 月期 1,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年 1 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年 1 月期	—	0.00	—	—	—
29年 1 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 1 月期の連結業績予想 (平成28年 2 月 1 日～平成29年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,501	5.2	248	211.0	230	295.8	156	—	21.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年1月期3Q	7,097,400株	28年1月期	7,097,400株
29年1月期3Q	486株	28年1月期	486株
29年1月期3Q	7,096,914株	28年1月期3Q	6,940,772株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みが見られるものの、個人所得や雇用環境は緩やかな回復基調にありました。しかしながら一方で、中国をはじめとする世界経済は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、アパレル、雑貨などの異業種他社が当社の属するライフスタイル市場へ新規参入してきたことによる競争の激化により、引き続き非常に厳しい環境が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業におきましては、ラグ・カーテン・ベッドリネン等の布小物を主軸とした新ブランド「unico loom (ユニコルーム)」をスタートし、当第3四半期連結会計期間に2店舗を展開しました。既存ブランドのunicoにおきましては、2016年新作カタログ発売に合わせた「カタログプレゼントキャンペーン」、お客様の投票で1位になったラグ・カーテン・ベッドリネンの新柄が10%割引になる「ファブリック人気投票」、unicoの家具でコーディネートしたお部屋の写真をInstagramやウェブサイトから投稿する一般ユーザー参加型の企画「お部屋グランプリ」等を実施しました。また、food事業におきましては、unicoが提供する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置付けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,993,143千円(前年同四半期比1.4%減)、営業利益83,299千円(同47.6%減)、経常利益2,940千円(同98.1%減)、四半期純損失87,968千円(前四半期は四半期純利益68,694千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①unico事業

unico事業における主たる売上であります家具におきましては、ホワイトウォッシュ塗装を施したアカシア無垢材など、ラフに使えるカジュアルなデザインが魅力なMANOA(マノア)シリーズにキッチン・リビング収納を追加し、また、マットな塗装で仕上げた合板に細身のスチールパイプを合わせ、カジュアルでありながら洗練された印象のROHR(ロフ)シリーズを新たに投入しました。

店舗状況におきましては、平成28年10月に新ブランドunico loomをJR姫路駅直結の商業施設「ピオレ姫路」内に、同年同月に富山県東部で最大級の商業施設「ファボーレ」内にオープンしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,893,701千円(前年同四半期比1.5%減)、セグメント利益は85,824千円(同48.1%減)となりました。

#### ②food事業

Le Bistroでは、SNSによる積極的な情報発信を継続して行うことで新規顧客の獲得に寄与しました。bistro oeuf oeufでは、季節感のある食材を使った新メニューの開発を継続して行い、たくさんのお客様にご好評いただきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、99,442千円(前年同四半期比10.0%増)、セグメント損失は2,524千円(前年同四半期は6,622千円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より353,676千円増加し、4,411,491千円となりました。主な増減は、新規店舗増加に伴う商品及び製品の増加93,684千円、基幹システムの再開発等に伴う無形固定資産の増加55,882千円によるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より381,550千円増加し、2,662,303千円となりました。主な増減は、長期借入金の増加368,365千円によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より27,874千円減少し、1,749,188千円となりました。主な増減は、四半期純損失87,968千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成28年7月11日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実績率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

#### 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	693,900	673,122
売掛金	408,049	371,264
商品及び製品	1,235,728	1,329,412
仕掛品	6,405	1,050
原材料及び貯蔵品	110,243	126,415
未収還付法人税等	10,906	30,745
繰延税金資産	99,465	99,465
その他	110,307	151,301
流動資産合計	2,675,007	2,782,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	473,418	551,520
その他(純額)	130,540	160,029
有形固定資産合計	603,958	711,549
無形固定資産		
繰延税金資産	199,999	255,881
投資その他の資産		
繰延税金資産	106,865	106,865
敷金及び保証金	454,640	537,042
その他	17,343	17,374
投資その他の資産合計	578,849	661,282
固定資産合計	1,382,808	1,628,713
資産合計	4,057,815	4,411,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	301,474	242,294
1年内返済予定の長期借入金	415,532	541,118
前受金	304,000	304,943
賞与引当金	61,129	125,286
ポイント引当金	108,000	108,000
株主優待引当金	102,000	61,000
その他	412,819	332,795
流動負債合計	1,704,956	1,715,437
固定負債		
長期借入金	533,347	901,712
退職給付に係る負債	10,880	13,390
資産除去債務	31,569	31,763
固定負債合計	575,796	946,865
負債合計	2,280,753	2,662,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	380,372	380,372
資本剰余金	360,372	360,372
利益剰余金	1,041,861	953,892
自己株式	△222	△222
株主資本合計	1,782,383	1,694,415
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,951	53,241
その他の包括利益累計額合計	△6,951	53,241
新株予約権	1,630	1,531
純資産合計	1,777,062	1,749,188
負債純資産合計	4,057,815	4,411,491



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	6,075,376	5,993,143
売上原価	2,687,800	2,492,129
売上総利益	3,387,576	3,501,014
販売費及び一般管理費	3,228,730	3,417,714
営業利益	158,845	83,299
営業外収益		
受取利息	170	106
運送事故受取保険金	4,216	3,448
その他	893	2,690
営業外収益合計	5,280	6,245
営業外費用		
支払利息	2,826	2,962
為替差損	6,712	78,306
その他	1,295	5,336
営業外費用合計	10,835	86,605
経常利益	153,290	2,940
特別利益		
新株予約権戻入益	-	98
特別利益合計	-	98
特別損失		
固定資産除却損	2,688	-
減損損失	21,463	-
火災損失	-	60,332
特別損失合計	24,152	60,332
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	129,138	△57,294
法人税等	60,444	30,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,694	△87,968
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	68,694	△87,968

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,694	△87,968
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,671	60,192
その他の包括利益合計	12,671	60,192
四半期包括利益	81,366	△27,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,366	△27,775
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。